

○ノバミン錠 [内], ▼ノバミン筋注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 プロクロルペラジン (内服：マレイン酸注射：メシル酸) (U) prochlorperazine maleate 【分類】 神経安定剤

【単位】 ○5mg/錠, ▼5mg/管

【常用量】 ■内服：5～20mg/日

■注射：1Aを筋注

■抗がん剤による嘔吐予防には0.8mg/kgを静注 (Olver IN, et al: Eur J Cancer Clin Oncol 25: 1457-61, 1989)

【用法】 ■内服：分割投与 ■注射：1日1回

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (3)

【その他の報告】 透析患者の投与方法に言及した文献はないが、減量する必要はないと思われる (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (3)

【特徴】 薬理的にはクロロプロマジンに準ずるが、鎮痛薬との協作用用や体温降下作用は弱い。抗アドレナリン作用はかなり弱い。臨床的にはクロロプロマジンの4倍以上といわれる鎮吐作用を利用するのが主体である。長期使用で錐体外路症状の発現が問題となり目安として2週間までの投与とする (代替薬オランザピンなど)。

【主な副作用・毒性】 血圧低下, 白血球・血小板減少, 肝障害, 悪性症候群, 遅発性ジスキネジア, 錐体外路症状, SIADH, 光線過敏症, パーキンソン症候群, 眼圧亢進, 視覚障害, 女性化乳房, 体重増加, 錯乱, 不眠, 口渇, 鼻閉, 尿閉, 頻尿など

【モニターすべき項目】 異常行動傾向、血算と咽頭痛や熱や感染をともなう患者の変化、血圧測定、遅発性ジスキネジアの早期兆候の注意深い観察、肝機能測定と尿中ビリルビン、胆汁検査、眼科的検査、血清濃度 (U)

【吸収】 個人差がある (11)

【F】 0～16%, 初回通過効果を受ける (11) 11.9～18.8% (1) 非常に低い (Taylor WB, et al: Br J Clin Pharmacol 23: 137-42, 1987)

【tmax】 1.5～5hr (11)

【代謝】 肝 (U) 肝でS-オキサイド, 3位と7位の水酸化物, そのグルクロン酸抱合体, N-脱メチル体等に代謝され, 尿中, 糞中に排泄される (1)

【排泄】 主に腎; 胆汁 (U)

【CL】 2.35L/min [im] (1) 27±5mL/min/kg [iv] (Olver IN, et al: Eur J Cancer Clin Oncol 25: 1457-61, 1989)

【t1/2】 32hr (10) 6.7～6.8hr (11, Taylor WB, et al: Br J Clin Pharmacol 23: 137-42, 1987) 9hr [iv], 反復投与で18hr (Isah AO, et al: Br J Clin Pharmacol 32: 677-84, 1991)

【蛋白結合率】 90%かそれ以上 (U)

【Vd】 23L/kg (11) 17.9L/kg [im] (1) 17.7±4.5L/kg (Olver IN, et al: Eur J Cancer Clin Oncol 25: 1457-1461, 1989) 12.9L/kg [iv] (Isah AO, et al: Br J Clin Pharmacol 32: 677-84, 1991)

【MW】 566.15

【透析性】 蛋白結合率が高いため透析されない (U)

【TDMのポイント】 TDMの対象にならない 【O/W係数】 5000 (11) 77625 [1-オクタノール水系] (1) 【pKa】 3.73, 8.1 (1)

【相互作用】 アドレナリンの血圧反転 (1)

【主な臨床報告】 がん性疼痛へのオキシコドン誘発悪心・嘔吐に対してプラセボに勝らず、眠気などによりむしろ有害 (Tsukuura H, et al: Oncologist 2018 PMID: 29038236)

【効果発現時間】 抗精神病作用; 徐々に (数週間まで)。 個体差あり (U) 【最大効果発現時間】 抗精神病作用; 血漿濃度が定常状態に達するのに4～5日かかり、最大治療効果は6週～6ヶ月であらわれる (U)

【更新日】 20220525

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。